

# 平成30年度農学部基本計画(経営戦略)

平成30年4月16日教授会承認

| 目標                              | 計画                                      | 平成30年度検討課題  | 責任者・責任委員会        |
|---------------------------------|---|---|------------------|
| 教育の質の向上                         | 生物資源環境学科及び生命環境農学科の充実<br>ー教育コースの充実・学生支援ー | カリキュラムの改善(継続)<br>・早期卒業制度の導入について検討を継続する。<br>・新学科のカリキュラムの実施上の課題を検討する。<br>・卒業研究の実施方法・指導体制について検討する(継続)。   | 生命環境農学科長         |
|                                 |   | 学習指導体制の点検(継続)<br>・出席情報の利用方法について検討する。<br>・単位修得不良者に対する指導体制を点検する(継続)。  | 生命環境農学科長         |
|                                 |   | 多様な入試による入学者に対する入学前教育の実施(継続)と効果に関して検討する。   | 生命環境農学科長         |
| 共同獣医学科の充実<br>ー教員組織の整備とカリキュラム改革ー |   | 効果的な教育方法の推進(継続)<br>・共同獣医学科の教員及び学生に対して共同教育に関するアンケートを行い、課題を抽出・整理する。<br>・アンケート結果をもとに遠隔講義、並びに教員・学生移動型実習における教育手法をさらに改善、改良する。   | 共同獣医学教育開発推進センター長 |
|                                 |   | 臨床教育の充実(継続)<br>・臨床分野のうち、各年次開講の必須及び選択科目の実施方法について、鳥取大学及び岐阜大学で検証し、必要に応じてこれまでの実施方法の改善を行う。<br>・5年次開講の総合参加型臨床実習について、その実施方法の検証を継続する。   | 共同獣医学科長          |
|                                 |   | 獣医師養成教育の水準向上(継続)<br>・従前の専門教育カリキュラムから共同獣医学科のカリキュラムへ円滑に移行するため、両大学の学年暦を見据え授業編成を行う。<br>・獣医学共用試験を実施し、共同獣医学科第3期生における教育効果を検証する。<br>・大学基準協会が提示した獣医学評価ハンドブックの獣医学教育評価自己点検・評価ワークシートに従って、項目を選定した上で自己点検・評価の試行を継続する。                          | 共同獣医学科長          |
| 保護者との連携                         |   | 保護者会の開催(継続)   | 教務委員会委員長         |
| 大学間連携フィールド教育への参加                |   | 里山フィールド演習の実施(継続)  | 教務委員会委員長         |
| 受験生の増大                          |   | 入試制度の点検(継続)<br>・調査を継続し、入試制度の改善を図る。  | 入試企画委員会委員長       |
|                                 |   | 入試広報の充実(継続)<br>・広報媒体の点検・充実を図る。<br>・ホームページによる情報発信の拡充を図る。   | 広報委員会委員長         |
|                                 |   | 県内受験生の拡大(継続)  | 入試企画委員会委員長       |
|                                 |   | AO、推薦の見直し(継続)   | 入試企画委員会委員長       |
|                                 |   | 就職ガイダンスの充実(継続)<br>・一般企業編就職ガイダンスについては外部講師を招き、10月から3月に4回実施する。また、公務員編ガイダンスを計2回実施する。<br>・全学年を対象に一般企業並びに公務員の卒業生との懇談会を実施する。<br>・就職活動時期の変更に伴う学生の就職活動状況を把握するとともに、内定状況に応じて、キャリアセンターと連携を取りながら就職支援を強化する。<br>・共同獣医学科における企業説明会等の支援活動内容を検討する。 | 就職支援委員会委員長       |
|                                 |   | ・新入生に対するキャリア入門の講義内容を点検し、より充実したキャリア教育を実施する。<br>・インターンシップ等の専門科目におけるキャリア教育について、単位化の有無に関わらず、学生の学外活動を把握する。<br>・生物資源環境学科学学生を対象に大学院進学した場合のキャリア形成について、外部講師を招いたガイダンスの実施を継続する。  | 就職支援委員会委員長       |

| 目 標             | 計 画                                       | 平成30年度検討課題   | 責任者・<br>責任委員会               |
|-----------------|---|--|-----------------------------|
| 上教育の質の向上        | 地域の再生・活性化や「地(知)の拠点形成事業」に関する教育の実施          | 生命環境農学科への改組後の新コース(里地里山環境管理学コース)において、「里地里山演習Ⅰ・Ⅱ」等の科目で、積極的に地域に出かけて、その実情・課題等を学生が学習する授業を実施する。また、「地域連携による6次産業化人材育成プログラム」として、生命環境農学科共通専門科目である食マネジメント演習を中心による学外での視察を含む授業を実施する。  | 地(知)の拠点大学による地方創生推進室<br>兼任教員 |
| 研究部の資質の導向上の推進   | 菌類きのこ遺伝資源研究センター及び鳥由来人獣共通感染症疫学研究センターの充実と活用 | きのこ資源が生産する有用生理活性物質の探索(継続)<br>大学機能強化のための医工農連携での取組である戦略2-3「健康で安全な社会のための菌類きのこ資源の活用推進」を推進し、抽出物を150サンプル作製し、ライブラリーの充実を図るとともに、それを活用して、医薬リード化合物等の有用生理活性物質及び安全な生物農薬に関する研究を進め、特許出願1件以上を目指す。<br>また、抽出物の外部提供を開始する。<br><br>遺伝資源の充実と利用促進、及び、地域貢献の推進(継続)<br>・新規きのこ遺伝資源の収集を進め、TUFC保存株数の増加を図る。<br>・TUFC菌株の品質管理を進め、公開株数の増加を目指すとともに、菌株のDNA塩基配列情報も公開して、遺伝資源データベースの充実に努める。<br>・海外分譲の制度を整え、実施する。<br>・きのこ観察会を開催して、地域貢献に努める。 | 菌類きのこ遺伝資源研究センター長            |
|                 |   | ・農林水産省及び環境省との連携により、引き続き今後の高病原性鳥インフルエンザの国内発生に対応する。<br>・北海道大学人獣共通感染症リサーチセンターとの特定共同研究「鳥由来人獣共通感染症病原体の解析」を推進する。(継続)<br>・ベトナムとの鳥インフルエンザ国際共同疫学調査を実施する。(継続)<br>・農研機構による病性鑑定機能強化事業「鳥インフルエンザ発生時の疫学調査に係るウイルス検査体制の整備・実施」を継続する。<br>・平成30年度から新たに環境研究総合推進費課題「鳥インフルエンザウイルスの効率的サーベイランスシステムの開発と希少鳥類への感染源となる水鳥の感受性評価」を実施する。   | 鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター長         |
| 学内・学部内プロジェクトの推進 |   | 教育・研究プロジェクトの推進(継続)<br>・学部長裁量経費により研究プロジェクトの発展に繋がる研究支援を行う。   | 学部長                         |
|                 |   | 教員による学部内研究セミナーの開催(継続)<br>・新任教員の研究セミナーを開催する。  | 学部長                         |
| 外部資金の獲得         |   | 農林水産省・環境省等他省庁を含めた研究費の獲得(継続)<br>全教員に対して文部科学省以外の省庁等の大型予算獲得への努力を継続する。   | 学部長                         |
|                 |   | 鳥取県・地域試験研究機関・企業との連携推進(継続)<br>・学部長が中心となり鳥取県・地域試験研究機関・企業との連携会議等を開催する。  | 学部長                         |
|                 |   | 科研費申請の義務制度の継続及び採択件数の増加に向けての取組実施(継続)<br>・申請書のブラッシュアップ等資金獲得に向けた取組を実施する。  | 学部長                         |
|                 |   | 競争的資金等の間接経費の取り扱い方針の評価(継続)<br>・光熱水費について、月別推移を把握・公表する。   | 学部長                         |
| 研究機器の整備と有効活用    |   | 研究機器の充実と研究の効率化の推進(継続)<br>・共通機器の導入・管理方法を検討する。<br>・マスタープランの整備・点検・周知を行う。  | 学部長                         |
| 教員の研究活動活性化支援    |   | 教員の研究活動を活性化するための評価・支援方法の導入、特に、若手教員の研究力の強化(継続)<br>・若手教員の研究活動支援策を継続する。   | 学部長                         |
| 社会貢献の推進         | フィールドサイエンスセンターの活用                         | 附属幼稚園及び附属小中学校からの要請に基づく学習の場の提供(継続)  | フィールドサイエンスセンター長             |
|                 |   | 農業に関する研究・技術の問い合わせ窓口機能を持たせる。(継続)  | フィールドサイエンスセンター長             |
|                 | 動物医療センターの充実と活用                            | 地域の拠点病院としての強化(継続)<br>・問合せ等に対する受付業務とセンターHPの改善を進める。<br><br>設備の整備(継続)<br>・CTとMRIの更新に向けて準備を進める。<br>・センターの改修後8年を経過することから、機器の故障等に迅速に対応する。  | 動物医療センター長                   |

| 目 標  | 計 画                | 平成30年度検討課題  | 責任者・<br>責任委員会       |
|--|--------------------|---|---------------------|
| 社会<br>貢献<br>の<br>推<br>進  | 動物医療センターの<br>充実と活用 | 経営・運営面の強化(継続)<br>・診療料金の改定を実施する。<br>・動物看護師の業務の効率化を進める。<br>・受付業務を強化するとともに、効率化を進める。  | 動物医療センター長           |
|  |                    | リスク管理体制の強化(継続)<br>・院内感染対策に関する研修会を開催する。<br>・インフォームドコンセントに対するセミナーを開催する。   | 動物医療センター長           |
|  | 地域との連携             | ・鳥取県・鳥取市及び大学との連携協定を結んだ自治体との連携の推進(継続)<br>日南町:平成29年度と同様の内連携事業を進める。<br>南部町:米の食味向上に関する調査研究を継続する。<br>琴浦町:芝結束機の改良を行う。<br>鳥取県:大規模水田作経営の経営管理支援を行う。<br><br>・八頭町との連携推進:ブランド米育成支援  | 学部長                 |
|  |                    | 公開講座の推進(継続)<br>・講座の内容を改善するためアンケート等を行う。<br>・地域主催及び大学主催の公開講座に積極的に参画する。  | 学部長                 |
| 運<br>営<br>体<br>制<br>の<br>改<br>善                                    | 運営の効率化と透明<br>化     | ・教員の業績評価方法のフォーマットの全学分との調整を行う。   | 学部長                 |
|  |                    | 農場収入・演習林収入の増収努力(継続)<br>・作付作目や作付計画を点検し、販売方法を検討する。<br>・木材、乾燥椎茸、木工加工品等の作製、販売に努める。  | フィールドサイエンス<br>センター長 |
|  |                    | 予算・決算書の公開(継続)<br>・代議員会資料としてウェブ上の農学部スペースに公開する。   | 事務長                 |
|  |                    | 省エネの推進(継続)<br>・農学部経費削減推進委員会で管理経費の削減目標・計画の作成と具体的<br>提案を教職員に行い、省エネを推進する。<br>・光熱水料の削減目標を設定し、また、使用実績を教授会で報告するなど経<br>費削減意識の高揚を図る。<br>・光熱水料の受益者負担について検討する。<br>・省エネパトロールを実施する。<br>・エアコン使用前のフィルター清掃を実施する。<br>・研究用実験室の月別電気使用量をウェブ上の農学部スペースに公開する。 | 事務長                 |
|  |                    | 今後の人事基本方針の明確化と公表(継続)<br>・農学系部門の人員配置と将来の人事方針を決定する。   | 学部長                 |
|  |                    | 教育研究組織と運営の改善(継続)<br>多面的な評価が可能な入試方法の改善方法を検討する。   | 学部長                 |
| 確<br>安<br>保<br>育<br>全<br>研<br>で<br>究<br>効<br>果<br>間<br>的<br>の<br>な | 建物改修計画の推進          | 安全な教育研究環境の整備(継続)<br>・安防災管理の自主点検を継続する。<br>・地震時行動マニュアルのポータブル版の作成及び英語版の作成を検討す<br>る。  | 施設管理委員会委員<br>長      |
|  |                    | 周辺施設(FSC・菌類きのこ遺伝資源研究センター・動物医療センター)の整<br>備計画の推進(継続)  | 学部長                 |
| 国<br>際<br>交<br>流<br>の<br>推<br>進                                    | 国際交流の推進            | 国際交流の推進(継続)<br>・日韓合同国際シンポジウム等を活用した学生、教員の交流を推進する。<br>・海外学術交流協定校との交流を推進する<br>・JICA集団研修コースでの国際交流を図る。   | 学部長                 |
|  | 海外教育研究拠点の<br>拡大    | 海外教育研究拠点の活用(継続)   | 学部長                 |